

第 1 部 筑紫野市の概要

1. 沿革

本市は緑豊かな自然と交通の利便性、そして万葉の頃から続く歴史や文化といった環境や特性を活かして成長を続けてきた。現在では、都市化の進展に伴い、福岡都市圏のベッドタウンとして人口も伸びている。

このような背景のもと、1955(昭和 30)年 3 月 1 日に 1 町 4 村が合併して筑紫野町になった。1972(昭和 47)年 4 月 1 日に市制が施行され、令和 4 年 4 月 1 日に市制施行 50 周年を迎えた。

本市は第六次筑紫野市総合計画のもと、将来都市像を「自然と街との共生都市 ひかり輝くふるさと ちくしの」と定め、「自然」と「街」とが共生するまちづくり」という基本理念を基礎とした上で、地域コミュニティを核としたまちづくりを推進している。

2. 地理的、地形的特性

筑紫野市は福岡県の中央部からやや西部に位置している。東西 15.6 k m、南北 14.1 k m に広がり、面積は 87.73 k m² を有している。西が背振山系、東が三郡山系の一部をそれぞれ形成し、平地が市域中央部に広がっている。中央部には平坦地ながらも分水嶺を抱え、御笠川・那珂川水系は北流し博多湾へ、宝満川水系は南流し有明海へ注いでいる。

図 1-1 地域の位置



3. 人口動態

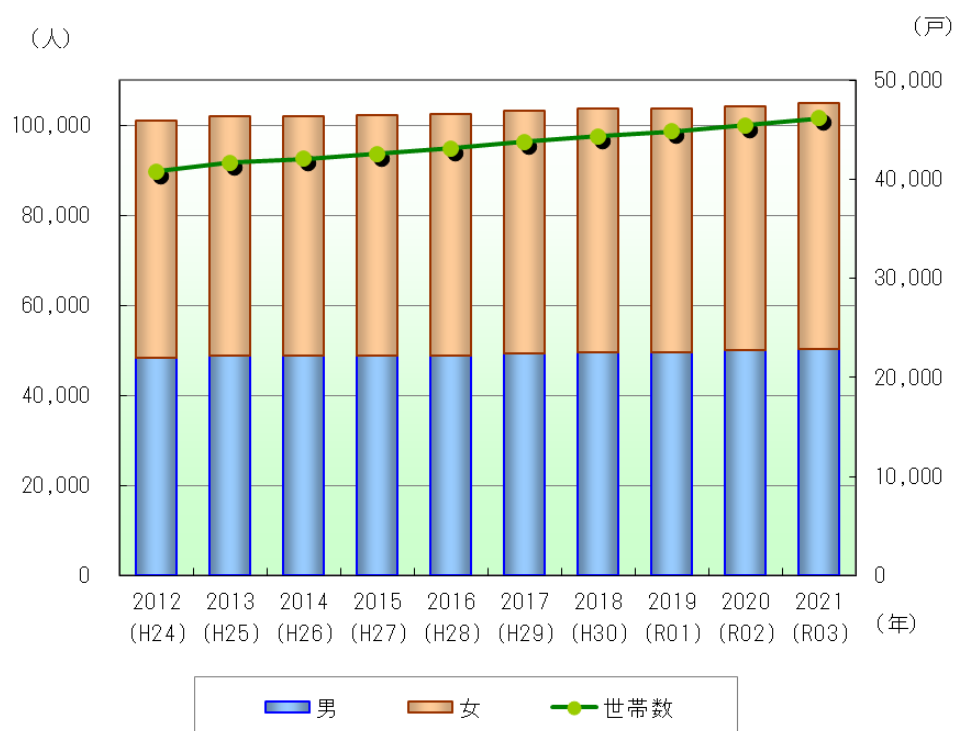
人口は増加傾向であるが、一世帯あたり人数は減少傾向にあり、核家族化が進んでいることが考えられる。2012(平成24)年7月以降の人口には外国人を含む。

表 1-1 人口の推移

年度	世帯数 (戸)	人 口			世帯人数 (人/戸)	人口密度 (人/km ²)
		総数 (人)	男 (人)	女 (人)		
2012 (平成24)	40,814	101,072	48,352	52,720	2.48	1,151.4
2013 (平成25)	41,703	102,104	48,789	53,315	2.45	1,163.2
2014 (平成26)	42,087	102,112	48,822	53,290	2.43	1,163.3
2015 (平成27)	42,602	102,376	48,950	53,426	2.40	1,166.9
2016 (平成28)	43,129	102,579	48,937	53,642	2.38	1,169.3
2017 (平成29)	43,773	103,278	49,363	53,915	2.36	1,177.2
2018 (平成30)	44,366	103,620	49,550	54,070	2.34	1,181.1
2019 (令和元)	44,852	103,818	49,698	54,120	2.31	1,183.4
2020 (令和2)	45,433	104,322	50,035	54,287	2.30	1,189.1
2021 (令和3)	46,162	104,941	50,290	54,651	2.27	1,196.2

資料：筑紫野市住民基本台帳（4月1日付） 世帯数及び人口調査

図 1-2 人口の推移



4. 産業構造

本市における産業別就業人口を表 1-2 に示す。2020(令和 2)年において第 3 次産業が約 82%を占め、続いて第 2 次産業が約 17%、第 1 次産業が約 1 %となっている。

表 1-2 産業別就業人口

産業分類		2015（平成27）年		2020（令和 2）年	
		総数（人）	構成比（％）	総数（人）	構成比（％）
総就業人口		48,917	100.00	51,230	100.00
第 1 次 産業	農業	696	1.42	716	1.40
	林業	27	0.06	22	0.04
	漁業	8	0.02	11	0.02
	小 計	731	1.49	749	1.46
第 2 次 産業	鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.00	0	0.00
	建設業	4,229	8.65	4,135	8.07
	製造業	4,732	9.67	4,384	8.56
	小 計	8,961	18.32	8,519	16.63
第 3 次 産業	電気・ガス・熱供給・水道業	289	0.59	295	0.58
	情報通信業	1,469	3.00	1,494	2.92
	運輸業・郵便業	3,098	6.33	3,401	6.64
	卸売業・小売業	9,535	19.49	9,919	19.36
	金融業・保険業	1,466	3.00	1,402	2.74
	不動産業・物品賃貸業	1,216	2.49	1,292	2.52
	学術研究・専門・技術サービス業	1,971	4.03	2,167	4.23
	宿泊業・飲食サービス業	2,746	5.61	2,808	5.48
	生活関連サービス業・娯楽業	1,880	3.84	1,856	3.62
	教育・学習支援業	2,680	5.48	2,836	5.54
	医療・福祉	6,506	13.30	7,415	14.47
	複合サービス事業	378	0.77	351	0.69
	サービス業	3,613	7.39	4,284	8.36
	公務（他に分類されるものを除く）	2,378	4.86	2,442	4.77
	小 計	39,225	80.19	41,962	81.91

注）構成比の値は四捨五入により合計値が一致しないことがある。

資料：国勢調査（2015(平成 27)年、2020(令和 2)年）

5. 水環境、水質保全に関する状況等

(1) 水道水源の地域

本市では、水道資源を保護する目的で、「筑紫野市水道水源保護条例」を制定し、大字平等寺の全域を水源保護地域に指定している。

(2) 自然公園の地域

本市には、太宰府県立自然公園があり、普通地域及び第三種特別地域に指定されている。

(3) 湖沼水質保全法の指定地域等

本市には、湖沼水質保全法に基づく指定湖沼はない。

(4) 環境配慮に関する要綱

本市では、自然環境や生態系への自主的、積極的な環境配慮を行い、良好な環境保全と創造に努める目的で、「筑紫野市環境配慮に関する要綱」を制定している。一定規模以上の開発事業を行う際には、この要綱に定める手続きをしなければならない。